

表紙

令和5年度 学校推薦型選抜 小論文

注意事項

1. この試験問題(小論文)は学校教育課程 **障害児教育コース** 受験者用です。
2. 試験開始の合図があったらすぐに用紙の種類と枚数を確認した上で、受験番号記入欄の全てに受験番号を記入してください。

表紙 1枚

問題並びに答案用紙 3枚

3. 試験終了後、全ての用紙を回収します。
4. 用紙が不足していた時や、印刷が不鮮明な時には手を挙げて監督者に知らせてください。

この用紙(表紙)の裏面を「メモ用紙(構想用)」として使用しても構いません。

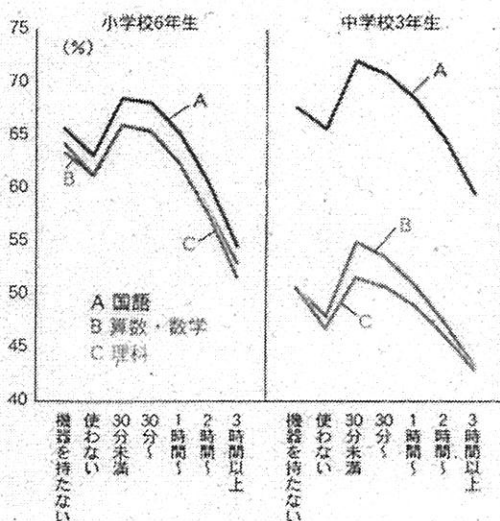
総計

問 以下の新聞記事を読んで、あとの問いに答えなさい。

数字が語る日本の教育

ICT利用と学力

ICT機器の利用時間別の平均正答率



*ICT機器の利用とは、勉強目的によるものである。
*「全国学力・学習状況調査」(令和4年)より作成。

教育において、ICT機器の活用が推奨されるようになって久しい。児童・生徒の学習においても、ICT機器が利用されるようになってきている。左のグラフは、スマホやパソコンといった機器の利用時間別(学習目的。1日当たり)に、教科の平均正答率を見たものだ。

予想に反してというか、利用時間が長い群ほど正答率が低い傾向にある。機器を持たない、使わない群は家庭の経済力が低い等の理由が考えられるが、その他の群では利用時間と正答率が逆に相関して

いる。長時間使うグループでは、学校を休みがちな子が多いのかもしれないが、ICT機器に依存し過ぎることにはマイナスの影響もあるだろう。

検索で答えを得ることに慣れると、自分の頭で考えることが少なくなる。デジタル教科書にしても、漢字の書き取りや実験などの体験がおろそかにならないようにしないとイケない。「果汁入りのジュースの量を半分にしたら、果汁の濃度も半分になる」と誤答した児童が多かったとのことだが、これなどは実体験から遊離した機械(デジタル)思考の表れにほかならない。

(舞田敏彦・教育社会学者)

出典：日本教育新聞2022年8月8・15日合併号

1. 記されていることを100字以内で要約しなさい。

100字

小計

問題並びに答案用紙(3/3)

(前ページからの解答の続き)

500字

600字

小計
